

2026 年 10 月 13 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

**FRONTEO の医学論文探索 AI「KIBIT Amanogawa」、
サントリーグローバルイノベーションセンターが導入**

医学・生命科学の知見を食品・健康分野の研究に活用

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、サントリーグループの基盤技術研究を担うサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹本 晋、以下「サントリーグローバルイノベーションセンター」）が、医学論文探索AI「KIBIT Amanogawa（キビット アマノガワ）」を導入したことをお知らせします。



■導入の背景・目的

近年、食品・健康分野において研究対象の複雑化や研究データの多様化が進む中、科学情報から有用な知見を見だし、エビデンスに基づく新たな着想や仮説の構築につなげることがより重要となっています。KIBIT Amanogawaは、医学・生命科学論文を俯瞰的に解析し、既知の情報からは容易にたどり着けない関連性を捉えることで、こうした研究活動を支援します。

サントリーグローバルイノベーションセンターは、サントリーグループ全体の価値向上と事業成長に向けた研究・技術開発を担っています。医学・生命科学論文から新たな着想や仮説を探索する研究活動に活用することを目的に、KIBIT Amanogawaの導入を決定しました。

■KIBIT Amanogawaの特徴と食品・健康分野への展開

KIBIT Amanogawaは、FRONTEO自社開発の方程式駆動型AI「KIBIT（キビット）」^{*1}の自然言語処理技術を活用し、4,000万報超の医学・生命科学分野の論文群を、網羅的かつバイアスを排除して解析するAIシステムです。論文に直接記載されていない関連性を捉える「非連続的発見」のアプローチにより、従来の論文探索では見いだせなかった新たな知見や事象間の関

連性の発見を支援します。これまで主に製薬企業やアカデミアでの創薬研究において、疾患と標的分子^{*2}との未知の関連性の探索や、メカニズム（作用機序）の仮説生成などを中心に活用されてきました。現在は、食品・健康分野、化粧品、素材などさらに多様な領域の企業等に活用の方が広がっています。

■FRONTEO 取締役/CSO（Chief Science Officer） 豊柴 博義のコメント

「研究開発において新たな発見を生み出すには、多様なデータや既知の知見を結び付け、これまで見ていなかった関係性を捉えることが重要です。医学・生命科学論文の知見を活用することで、新たな着想や仮説が生まれる可能性があります。

KIBIT Amanogawaの「非連続的发现」がサントリーグローバルイノベーションセンター様の新たな研究の可能性を切り開く一助となり、新たな価値の創出、人々のQOL（生活の質）向上につながることを期待しています。」

FRONTEOは、創薬研究で培ってきた「KIBIT」による科学情報解析の食品・健康分野への展開を推進いたします。今後もKIBIT Amanogawaの活用領域を、医薬品のみならず食品、健康産業、化粧品、素材などへ拡大し、各領域における「非連続的发现」と新たな価値創出を支援してまいります。

* 1 方程式駆動型AI「KIBIT」：FRONTEOが独自開発した人工知能。方程式を用いることで非連続な発見、因果関係の把握、高い再現性を実現。学習プロセスの軽量化によりCPUレベルで高速・高精度の解析が可能とする

* 2 標的分子：薬を作用させる対象とする分子（遺伝子）

■KIBIT Amanogawaについて URL：<https://lifescience.fronteo.com/products/amanogawa/>



KIBIT Amanogawaシステム画面。左上「Space Map」の点は個々の論文を示す

「KIBIT Amanogawa」は、FRONTEO独自の自然言語処理技術を用いた医学論文探索AIシステムです。4,000万報超の論文データを網羅的かつアンバイアスに解析し、論文に直接記載されていない未報告の関連性を発見する「非連続的発見」のアプローチを特長としています。これまで製薬企業を中心に、創薬標的分子と疾患の未知の関連性の探索や作用機序の仮説生成などに活用されてきました。本技術は、化粧品、ヘルスケア、食品、素材など、幅広い領域における研究開発にも応用可能です。

■株式会社 FRONTEO について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日本・欧州・米国・韓国特許取得済）は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも活かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンス AI](#)、リスクマネジメント（[経済安全保障分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野](#)、[リーガルテック AI 分野](#)）、DX（[株式会社アルネッツ](#)）の各事業で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 6 月 30 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、AmanogawaはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

＜報道関係者のお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com 電話 : 080-3449-6844

＜ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://www.fronteo.com/ja/contact/business>